Kumamoto City

News Release

平成２９年２月２４日

熊本西環状道路（花園 IC～下硯川 IC）開通のお知らせ

熊本市が整備を進めてきた熊本西環状道路（花園 IC～下硯川 IC）の延長約４ｋｍが開通しますので、お知らせします。

開通日：平成２９年３月２６日（日）

熊本西環状道路が開通することで、周辺道路の混雑緩和が期待されます。
より早く、より安全に、よりスムーズな自動車交通の実現を目指します。

【花園 IC～下硯川 IC の開通により期待される効果】
- 混雑緩和：西環状道路への交通量の転換により交通混雑が緩和
- 交通安全：交通混雑の緩和により交通安全性が向上
- 医療支援：所要時間短縮により住民生活の安心・安全が向上

○３月２６日に開通式典を開催予定ですが、詳細については具体的な内容が決まり次第あらためてお知らせします。

※報道関係の皆様へ
- 開通区間の撮影取材を３月７日(火)の消防訓練の後に行います。

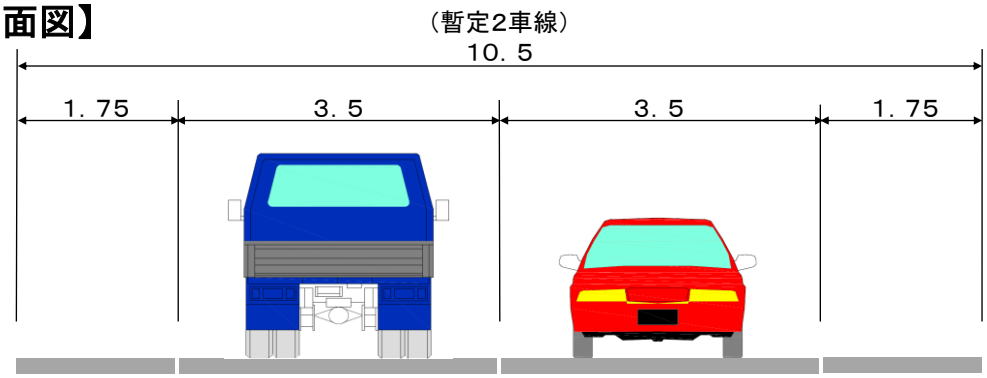
【お問い合わせ先】
熊本市　都市建設局　土木部　道路整備課
電話：０９６－３２８－２４８４
課長：沼野　猛

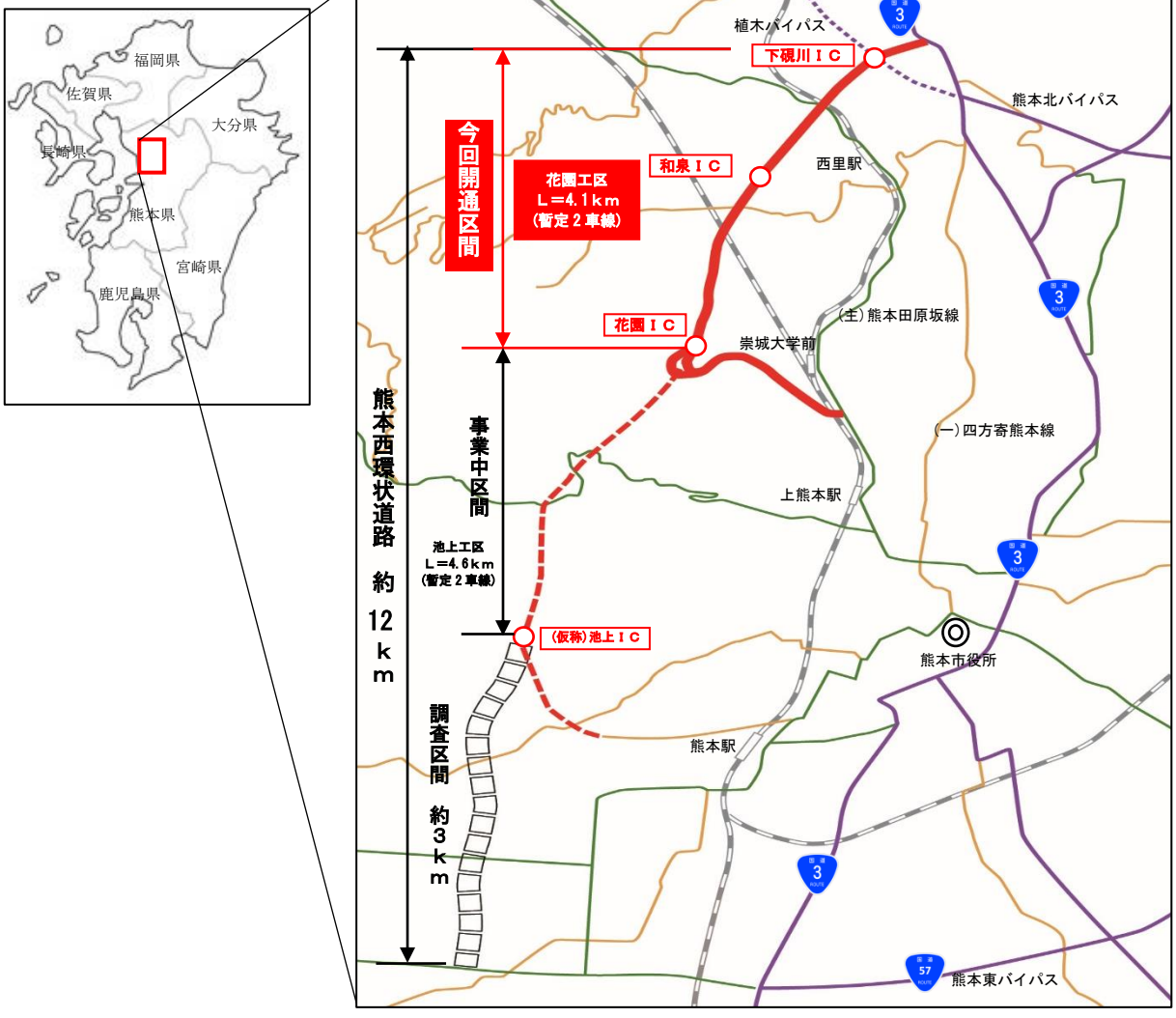
1．熊本西環状道路の概要

○熊本西環状道路は熊本環状道路の西側部を形成する、延長約 12ｋｍの道路です。
○熊本都市圏の交通混雑の緩和を目的に、延長約 12ｋｍのうち、花園工区（約４ｋｍ）と池上工区（約５ｋｍ）の整備を進めており、この度は花園工区（約４ｋｍ）が開通します。

○今回の開通区間
■区　間：自）西区花園７丁目　～　至）北区下硯川町
■延　長：約４．１ｋｍ
■車線数：暫定２車線

【標準断面図】





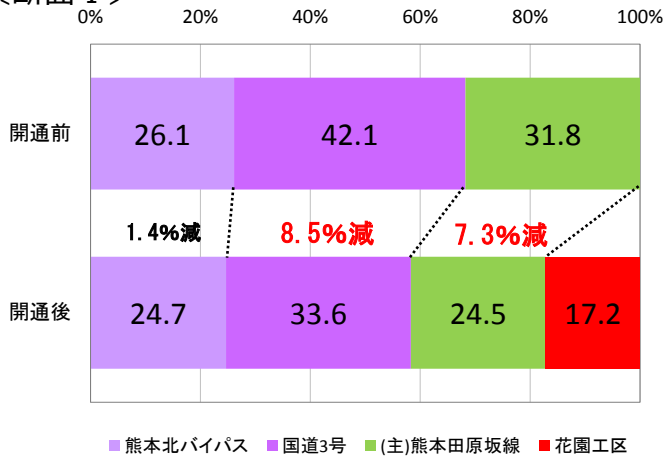
開通により期待される効果

【効果１】交通の転換

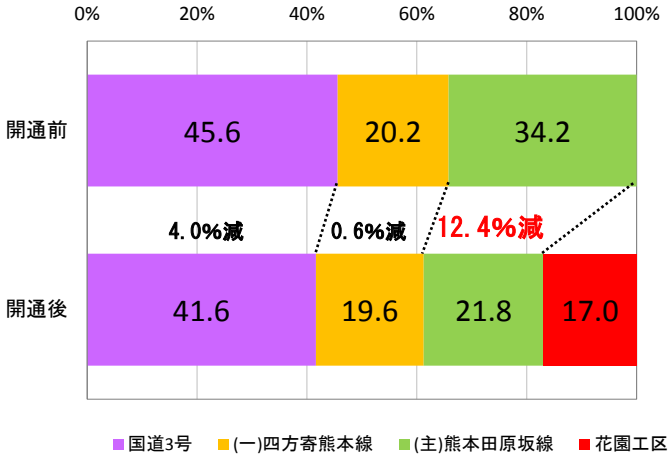
○花園工区の開通により、花園工区と並行する国道３号や（主）熊本田原坂線、（一）四方寄熊本線の負担が低下するものと予想されます。
○特に、（主）熊本田原坂線では交通量が２～３割減少することが期待されます。

■交通分担の変化

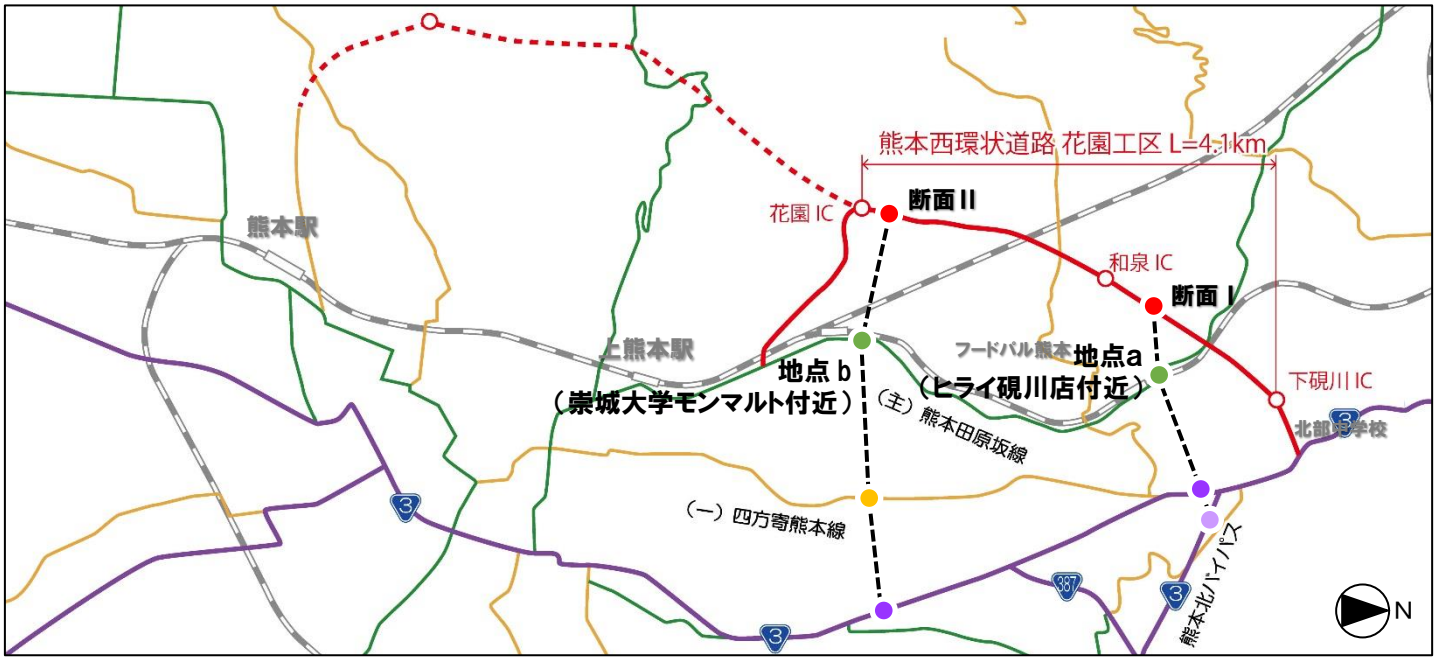
〔断面Ⅰ〕



〔断面Ⅱ〕

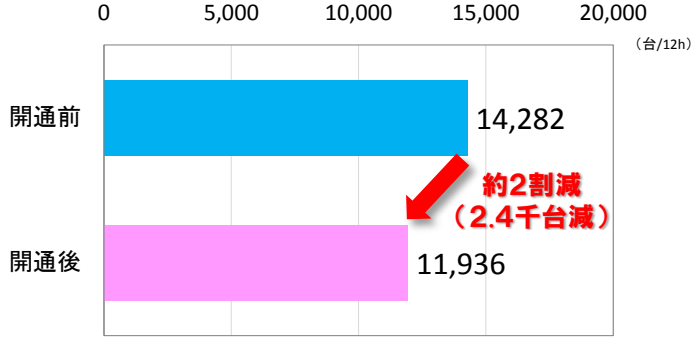


※開通前：交通量調査結果（H28.11.29）、開通後：将来交通量推計による**予測値**

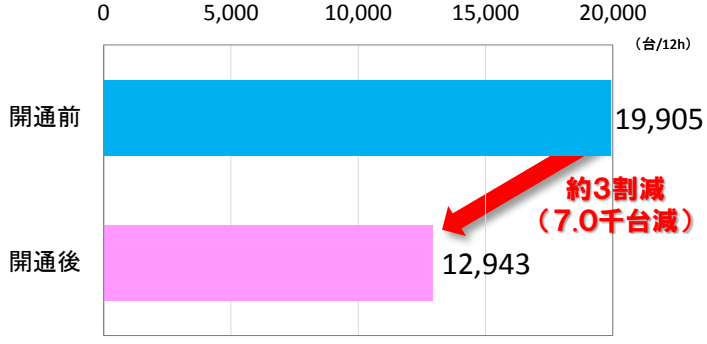


■交通量の変化〔（主）熊本田原坂線〕

〔地点ａ（ヒライ硯川店付近）〕



〔地点ｂ（崇城大学モンマルト付近）〕



※開通前：交通量調査結果（H28.11.29）、開通後：将来交通量推計による**予測値**

開通により期待される効果

【効果2】交通渋滞の緩和

○花園工区の開通により、並行する（主）熊本田原坂線等で交通量が減少し、四方寄南交差点や貢町交差点等で、朝・夕に発生している渋滞が緩和することが期待されます。
○また、渋滞が緩和することにより、熊本市北部方面から熊本市中心部までの所要時間が短縮することが期待されます。

■現在の交通渋滞の状況（朝ピーク）

〔北部消防入口交差点付近〕



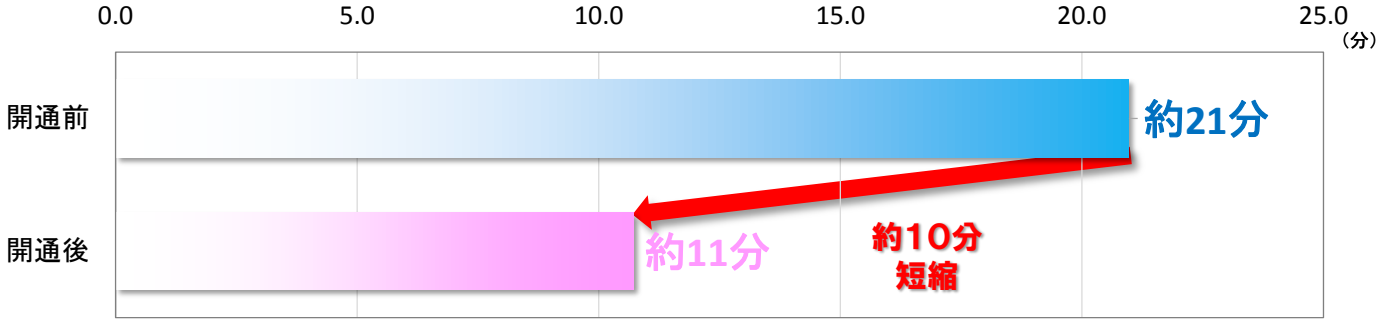
（北部総合出張所から四方寄方面を望む/H28.11.29 撮影）

〔貢町交差点〕

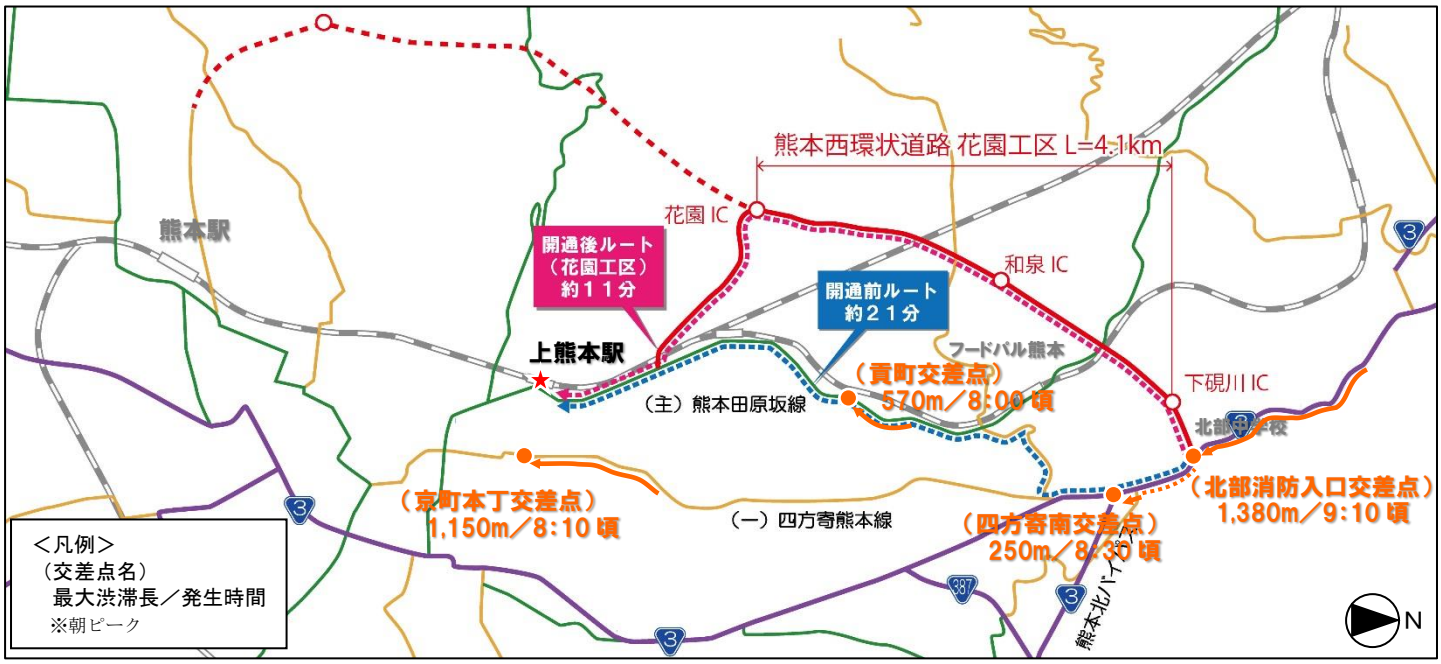


（植木方面から貢町交差点方面を望む/H28.11.29 撮影）

■下硯川 IC～上熊本駅の所要時間の変化（朝ピーク）



※旅行速度調査結果（H28.11.29）や道路交通センサス（H22）をもとに、開通前、開通後の所要時間を算出



開通により期待される効果

【効果３】交通安全性の向上

○西里小学校と北部中学校間を連絡する市道は、（主）熊本田原坂線～国道３号間の抜け道として利用され、通学時間帯は歩道のない市道に歩行者（児童、生徒等）と車両が混在しています。
○花園工区の開通により、市道の利用交通が減少し、交通安全性の向上が期待されます。

■（主）熊本田原坂線～市道間の車両の通行状況





〔写真①〕
(主)熊本田原坂線から右折し市道へ向かう車両群
〔写真②〕
市道から(主)熊本田原坂線へ左折する車両

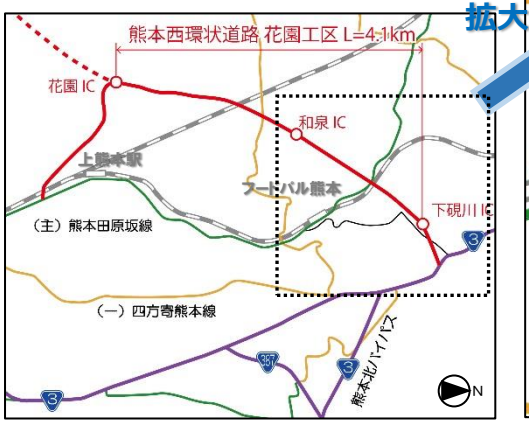
■市道の通行状況

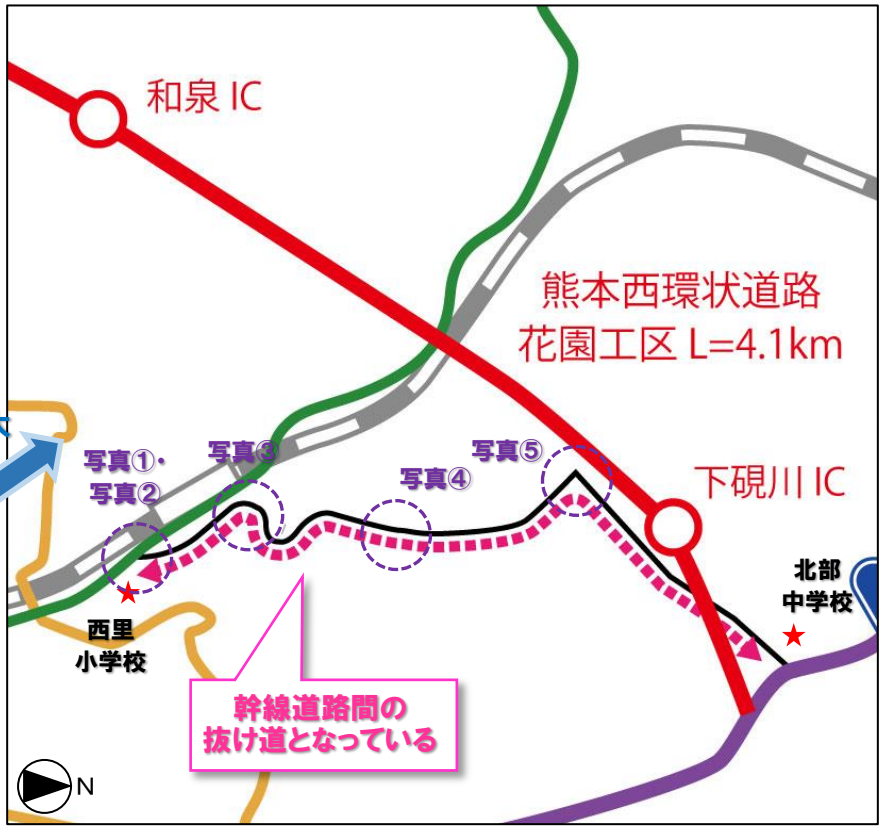




〔写真③及び写真④〕
児童や生徒などの歩行者の脇を複数の車両が通行
〔写真⑤〕
大型貨物車も市道を頻繁に通行





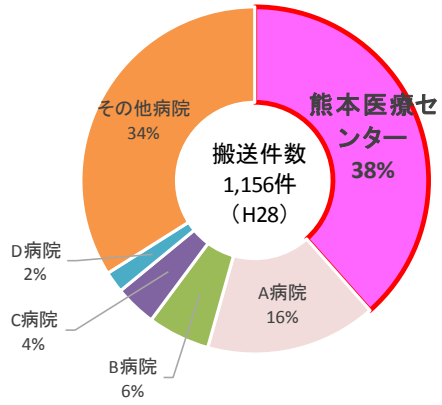


開通により期待される効果

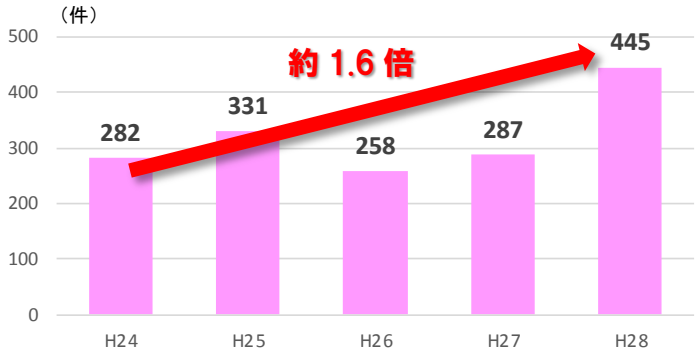
【効果４】救急医療活動の支援

○熊本市北消防署からの医療施設への救急搬送割合は熊本医療センター（前国立熊本病院）が約４割を占めており、熊本医療センターへの救急搬送件数は過去５年で 1.6 倍に増加しています。
○花園工区の開通により、第三次救急医療施設への搬送時間が短縮し、救急医療活動を支援することが期待されます。

■医療施設別の救急搬送割合（H28 年）

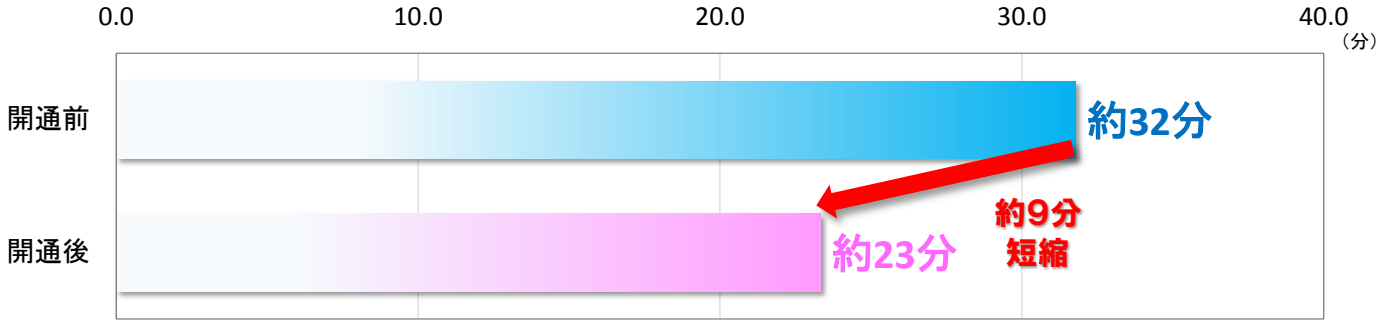


■熊本医療センターへの搬送件数の推移



※資料提供：熊本市北消防署

■下硯川 IC～熊本医療センターの所要時間の変化



※旅行速度調査結果（H28.11.29）や道路交通センサス（H22）をもとに、開通前、開通後の所要時間を算出

